

# 夢と素敵なお付き合い。

平成26年度卒業生 社会科教育専修 中山卓

この文章が人目に触れる頃、私は卒業してもう大学にいません。これを読む新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学生活は本当に自由です。したいことを目いっぱいして、悔いのない大学生活を送って欲しいと思います。誰にも指図されることのない自由な時間が満ち溢れているのも、人生の中でもこの大学生活だけだと思うから、全力で楽しんで下さい。

この4月から、講師という形ですが教壇に立つので、高校教諭になるという夢が叶うことになります。次は1年でも早い正式採用を目指してまた1からのスタートです。「夢は口に出すと強い」、2014年1月1日の朝日新聞に載っていた記事から言葉を借りたいと思います。夢や目標は、心の中にしまいっぱなしにするのではなく、たまに紙に書いたり誰かに話をしたりして外に出してあげよう。そうすれば夢や目標はより叶えたり達成したりしたくなると思います。大学生活の中で教師になりたいという夢が揺らぐ時がきっとあるはず。そんな時は別に夢と距離を取って、他の事に熱中してもいいと思います。夢もずっとくつつかれると暑苦しくて鬱陶しいと思っているかもしれません。夢とは常に一緒にいなくてもいいと思います。あなたにとってのベストな距離感がきっとあるはず。それを見つけるのも夢を叶えるための力になるでしょう。

とりあえず合格圏内ということで奈良教育大を選んだ人もいます。別に教師になりたくない人もいます。それはそれでいいんじゃないでしょうか。今日から始まる大学生活で、したいことや、なりたいものを自分の力で見つけることが出来たなら、それだけで価値ある大学生活です。そしてそのために具体的に行動を起こすことができたならもっと価値があると思います。焦ってもいいことはありません。「焦らず、慌てず、諦めず。」の気持ちでどっしり構えればそのうち結果はついてくるはず。です。

私は大学に1年間残留、つまり留年することを選びました。色々悩んでの結論でしたが、後悔は全くしていません。ダラダラと日々を送る時期もありましたが、この遠回りで改めて自分の中の「高校教諭になりたい。」という気持ちを再確認出来たから、最後の1年間はとても充実した毎日を送ることができました。読みたい本を読み、したいことをしました。1年遠回りしたことで得たものは大きいと感じています。夢と少し離れる時間が出来たから、改めて夢への気持ちが強くなりました。

とりあえず、4年間という長い時間が目の前に横たわっているのだから、自分を見つめ直す時間を是非とも作ってほしいと思います。自分の知らない世界に足を踏み込んで、新しい自分に出会うことにも是非挑戦してほしいと思います。「自分はこれしか出来ない。」と思い込んでいるうちは、魅力的な大人にはなれないかもしれません。教師を目指すということは、子どもにとって魅力的な大人になることだと私は思っています。人と話をするのが苦手なら、自分から話しかけてみよう。人を誉めたことがないなら、ちょっとしたことで誉めてあげよう。自分を変えるには、自分が行動を起こさなければ変えることはできません。他人がいくら手を出したところで、自分が変わりたいと思わなければ変わりません。成長とは、変わっていくことなのだから。

書きたいことを書きなぐった文章になってしまいましたが、これを書く機会を下さった保健管理センターの先生方、日頃からお世話になった研究室の佐野先生には本当に感謝しています。手のかかる学生でしたが、教師になった姿を見せることで恩返しできればなと思っています。